第７回食育活動表彰
農林水産大臣賞

教育関係者・事業者部門【企業の部】

農林水産大臣賞

東京ガス株式会社

［ 東京都：活動期間３０年 ］

多様な世代の未来をつむぐ食の取組をめざして

「調理」を軸とした食育活動

東京ガスは、明治時代から家庭にエネルギーをお届けし、皆さまの暮らしと豊かな食生活を支えてきました。その長い歴史の中で、食や環境、エネルギーの問題に複合的に取り組むべく、私たちの暮らしに身近な「調理」を軸とし食育活動を開始しました。現在に至るまで、時代の流れに即した食育を推進しています。現在は、「東京ガスの独自性のある食育」として、環境問題やSDGs実現をベースに、次世代育成、健康長寿という現代社会が抱える課題に向き合っています。

スタートは
キッズ イン ザ キッチン
こども料理教室（1992～2020）

味覚教育を取り入れた「味覚のアトリエ」

未来につながる暮らし方を食から

食育活動開始当初は対象をこどもとしていましたが、現在はこどもから大人、シニア世代に至るまで、幅広い世代の方に向けた食育活動へと発展しており、各対象に合わせた持続可能な食を支える取組を行っています。例えば、親子向けにはSDGsの入口となるようなセミナー、大人向けには食料資源の未来を考える講座などを開催しました。また、2014年からは外部の有識者と共に「環境に優しい食育協議会」を発足し、学校や食の関係者など食に関心のある方々に向けて定期的なシンポジウムを開催しています。エコ・クッキングも継続して実施しています。

こども向けセミナー

こどもから大人まで
あらゆる世代に向けて

デジタル化でより身近な活動に

活動のPRや情報発信の方法についても、SNSやメールマガジン、オンライン配信など、対象者ごとに時代の流れに合わせたツールを積極的に活用しています。教材についても同様に、内容や対象者に合わせて作成し、一部デジタル化も行っています。より多くの方々の目に触れ、身近な食育活動として体験いただけるよう様々な工夫をしています。

食と環境を学ぶ
デジタル教材(2017～)

オンライン配信への取組
（2020～）

東京ガスグループでは100年以上前から、炎の調理を通じて食の楽しさをお伝えして参りました。現在は、皆様の生活を支える企業として、食にまつわる様々な社会的課題の解決を目指しています。当社ならではの食への取組をきっかけに、食だけではなく地球環境のことを考えた暮らし方を実践できる方々が一人でも多くなることを願っております。

東京ガス株式会社　食情報センター 一同